Member's Forum
会員投稿の頁

U35

U-35委員会企画 2nd action
「建築と拡場」活動報告
講演会＆交流会
2014年6月27日(金) 19:00〜
会場：うめきたSHIP HALL

1 「建築と拡場」（グランフロント大阪での体験を通じて）

今回はグランフロント大阪の企画、設計、運営に携わられた４人の方々に、それぞれの立場から、グランフロント大阪での体験を通じて、「建築と拡場」について語っていただきました。

パネリスト①／建築設計者
塚島　健氏（日建設計）

「広場」でなく「拡場」とすることが、「ひと」のアクティビティが「まち」への賑わいへ関係づけられ、「空間」だけでない「場所」もデザインすることにつながる。
それは、うめきた広場やグランフロント大阪の建築内部まで展開している。うめきた広場では人の溜りと動きが絶えない。たとえば、ある敷地に建物をつくるか広場をつくるかではなく、建物をつくり囲まれ残った場所を拡場としたことで実現している。周囲の建築からの賑わいの滲み出しが「広場」から「拡場」への変化を表現する。

パネリスト②／開発企画者
橋本英樹氏（大林組）

グランフロント大阪では、都市再生特別地区等の都市計画手法を用いて豊かな公共空間＝拡場空間を生み出した。拡場空間は「使われる」空間となることで、親しみの対象となり、且つ経済的価値も高まる。計画・設計段階では、NYのブライアントパークの再生にも用いられた『Place Making』『Power of 10＝10の魅力づくり』の理念を指針に、多様なアクティビティを想定して「使われる」空間づくりをめざした。

パネリスト③／企画運営者
木村美樹雄氏
（グランフロント大阪TMO）

一般社団法人グランフロント大阪TMOは開発事業者より街の付加価値向上や梅田全体の活性化、コミュニティ形成、公共空間の維持管理等のタウンマネジメント事業を委託されています。
広場等のまちの公共空間の運営に関わる事業としては、「ソシオ」という街公認のサークル活動を通じた日常の賑わいづくりや、季節毎の風物詩としてのイベントを自ら主催したり、外部イベントを誘致するなどして街に賑わいを提供しています。

パネリスト④／行政担当者
高橋和也氏（大阪市役所）

近年、グランフロント大阪をはじめ、大阪駅周辺地域で数多くの民間開発が進みましたが、立地ポテンシャルに加えて都市再生特別地区といった都市計画手法の後押しもあったものと思います。都市計画では、民間開発とあわせて歩行者ネットワークを充実してもらい、ネットワークの結節点には広場空間の整備を誘導することにより、この数年でうめだ界隈には民間の広場空間がいくつも新たに生み出されました。今後はこれら広場空間を高質に維持管理するのと同時に、どう利活用していくかがポイントと考えています。

U-35委員会Facebookページ

U-35委員会ではFacebookを開設しています。普段の活動内容や、メンバーの雑感などがざっくばらんに書かれています。Facebookをされている方はぜひ一度お立ち寄り下さい。

Facebookアドレス：
https://www.facebook.com/U35.aaj

2　パネルディスカッション「POWER of 10 ～グランフロント大阪の拡場の魅力～」（抜粋）

コーディネーター：上野山貴嗣

上野山　パネルディスカッションでは「Power of 10」と題して、グランフロント大阪の拡場の魅力について、パネリスト間で語っていただきます。

■アクティビティを生み出す

塚島　グランフロント大阪では、場の作り方に特徴があります。空間を創る、ということではなく、場所を創る、という感じですね。うめきた広場およびうめきたシップでは、隣接する南館から賑わいがにじみ出るような、つまりは空間そのものの質よりも、アクティビティを重視した場所づくりが必要でした。

橋本　拡場にアクティビティを生み出すためには、アクティビティを他から「持ってくる」のではなく、その拡場にある、可能性のあるアクティビティを「浮かび上がらせる」ようなしつらえが必要であり、このうめきた広場でもその点を目指して創り上げてきたつもりです。

また、最もシンプルなアクティビティとして、『座る』という行為があります。ニューヨークのブライアントパークでは、来訪者が自分の好きな場所に座れるよう、2000脚もの椅子が移動可能な状態で配置されており、来訪者がそれぞれの楽しみ方ができるよう設えられています。そのあり方から、拡場のあるべきかたちの根本を教わった気がします。

グランフロント大阪でも、いろいろ『座る』行為を促す仕掛けがあります。うめきた広場につながる大階段や、広場横の水盤前、公道におかれたオープンカフェなど、それぞれの場所で『座る』というアクティビティを促す場所がいくつか設定し、それぞれに違う風景に出会うことができます。

塚島　座る場所としては、公道上に置いたベンチの設計にも携わりました。最初は長手で２～３人が座れるようデザインされたベンチを提案しましたが、道路管理者から深夜等における管理上の指摘をうけ、サイコロ型のデザインとしました。民地ではない公道にベンチを置いたことが一つのデザイン要素になったと考えられます。

木村　公道内に設けたものとしては、他にも演出用のアッパーライトや非常用電源などがあります。電源についてはクリスマス時期のイルミネーションにも活用しています。

橋本　梅田スノーマンフェスティバルではけやき並木のライトアップを行いましたが、広域的なイベントとして警察からいろいろ指導をうけながらも、実施することができました。

■「うめきた広場」の試み

塚島　うめきた広場にはいろいろな仕掛けがあります。たとえば、床埋込みのLED照明は演出用に点灯をコントロールが可能です。また、演出用にはミストも出るように設えています。

木村　ミストは、雲のような細かい霧状のもので視界が遮られる心配があり、運用側から見ると注意しないと使えない感じもします。

塚島　というところで利用法を模索中です。ミストについては、大阪市から「水を使った環境装置をつくってほしい」と言われて採用したもので、アーティストの中谷芙二子さんとの共同作品です。

木村　昨年、うめきた広場で開催した梅田ゆかた祭のメインコンテンツである盆踊りの際にはミストを用いました。盆踊りについては、警察から30～45分ごとに休憩を取るよう指導を受けていました。そこで、その休憩時間を活かして、ミストを散布しました。文字通り「空間を冷やす」役割に期待しました。今年は夜間の部ではLEDの照明プログラムを活かした演出をしてみたいと考えています。

高橋　その他、うめきた広場の仕掛けでは、空調などに地中熱を利用しています。また、太陽光発電も設置されており、「うめぐるチャリ」の電動自転車の充電に用いたりしています。こうした環境配慮への取り組みも知ってもらえたら、と思います。

■地域に根差した都市の拡場

橋本　駅前で盆踊りをして人が来るのか？という疑問が企画時からありました。で、企画側のスタッフたちが率先して引っ張っていこうと考えていましたが、近隣の住民の方々に声をかけたところ、こぞって参加いただけました。ただ、住民の方々に話を聞くと、普段はそれほど集まりがよいわけではないとのこと。うめきた広場で開催されると聞いて参加してくれる人が多かった、との話を聞いた。その話や参加風景を見ていると、このうめきた広場は、近隣の広場という意味合いを超えて、都市レベルの広場となっており、それでも地域に根差した広場であるのだな、と感じました。

木村　東京の再開発だと都心すぎて、このような地元感を求めても出せませんでした。一方大阪では都市の中心にあっても近くに住民の方々がいたりして、大阪ならではの特色が「うめきた広場」に表れています。大阪というコンパクトシティであることの良さが出ているように感じます。

塚島　また、北館６階に『ウメキタフロア』という場所を設けていますが、ここは道頓堀みたいな雰囲気を建築内に立体的に取り入れたいという心意気で創りあげました。この場所では、飲食店の中に限らず、いわゆる共用部という賃料が発生しないところででも椅子やテーブルを並べて自由に飲食ができるような仕組みを取り入れています。このようなところにも大阪らしさが出た計画となったのではないかと考えています。

2nd actionを終えて

今回の企画をきっかけに参加パネリスト同士が改めてお互いの意図を汲み取り、さらなる積極的な『拡場』利用に取り組まれている、というご報告を後日頂く機会があり、枠を超えた繋がりの場が早速実践へと活かされていることを知り、まさにこの企画自体がひとつの『拡場』となりえたのではと、企画側としても喜ばしく思いました。参加者の皆さまや我々も同様にこれをきっかけとして自身の今後におけるより良き拡場づくりへと続く、次のアクションに繋げていければと願っています。最後になりましたが、ご参加頂きました皆様、パネリストの高橋さん 木村さん 橋本さん 塚島さん、会場を利用させて頂きましたグランフロント大阪TMOの皆様、ありがとうございました。

（下田康晴）

＜U-35委員会メンバー紹介＞　★新メンバー

①**伊藤 昭裕**（佐藤総合計画）　②**上野山 貴嗣**（安井建築設計事務所）　③**榎 恭志郎**（大建設計）　④**興津 俊宏**（竹中工務店）
⑤**駒井 陽次**（StyleAgency/PARK Lab.）　⑥**下田 康晴**（東畑建築事務所）　⑦**白波瀬 智幸**（竹中工務店）　⑧**中村 祐記**（大林組）　⑨**西森 史裕**（大林組）
⑩**廣富 純**（佐藤総合計画）　⑪**松島 将太**（大建設計）　⑫**横川 彩香**（東畑建築事務所）　⑬**若江 直生**（日建設計）